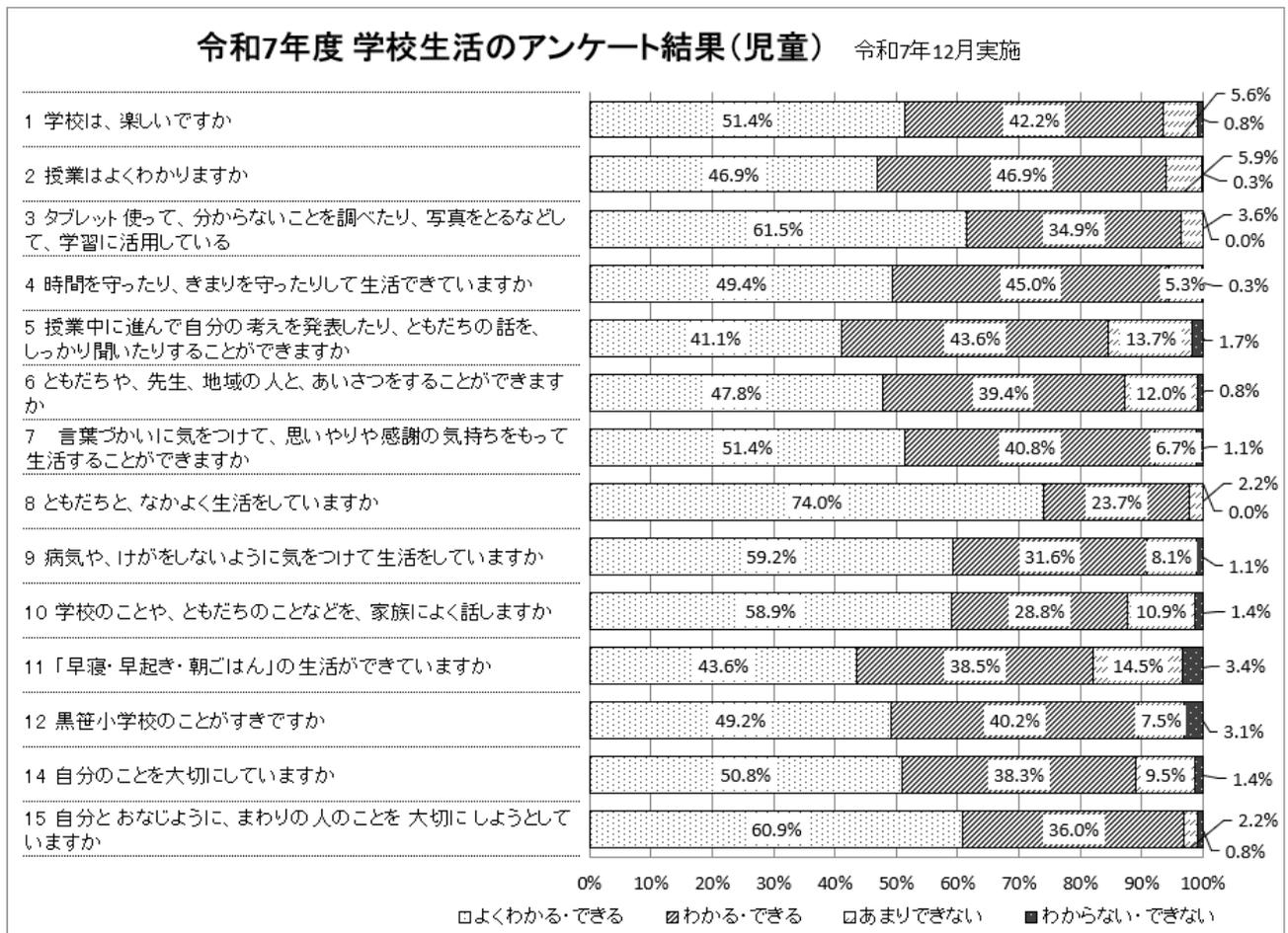


令和7年度学校評価アンケートの結果について

みよし市立黒笹小学校

学校評価アンケートは、本校の教育活動を振り返り、子どもたちの学習活動や生活習慣など家庭・地域との連携を一層深め、子どもたちがよりよい生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指すものです。次のとおり、今年度のアンケート結果をお知らせいたします。ご意見・ご感想については、いつでも学校にお寄せいただければ幸いです。

1 児童自己評価アンケートより



- 「問 1：学校は楽しい(93.6%)」「問 4：時間やきまりを守って生活できている(94.4%)」「問 8：友達と仲良く生活をしている(97.8%)」「問 15：自分と同じように周りの人のことを大切にしている(96.9%)」と答えている子どもが多い。
- 学校が好きな理由として「友達と話せる(71.3%)」と答えている子どもが多く、昨年より6.8%増となっている。

子どもたちにとって、友達と話をすることは、学校生活を充実させる大きな要因となっています。この「友達と話す」には、授業中にペアやグループで友達と意見を交わすことも含まれていると考えています。本校の授業研究では、子ども同士が対話を通して学びを深めることをねらいとしています。また、帯時間のざさっこタイムは、授業で生かせるコミュニケーションスキルの向上をめざした取組です。こうした視点で関連項目を見ると、「問2：授業はよくわかる

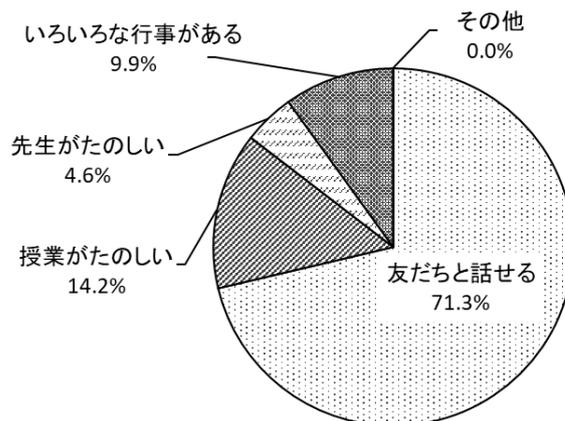
(93.9%)」が1.9%の増加、「問5：授業中に進んで自分の考えを発表したり、友だちの話をしっかり聞いたりすることができる(84.6%)」が1.0%の増加となっていることに成果を感じます。

また、「問10：学校のことや、ともだちのことなどを家族によく話す(87.7%)」は3.2%の増加で、最も伸び率の高い項目となりました。この項目に関連して、素敵なエピソードがあります。以下は、ある学級担任の日記に記されていたものです。

「児童Aさんのお母さんは、『〇年生の頃は、一日誰とも話さなかったと言って帰宅することもあったので、今年から席がペアになっていて、隣の子と話す機会が増えた！と娘が喜んでいました』と教えてくださった。児童Bさんのお母さんは、『隣の子の〇〇君がすごく面白くてね…と家で男の子の話が出るようになったんです』と教えてくださった。他にも、ペアで座っていることで、安心して学習できているみたいだと教えていただいた保護者がたくさんいた。私たちが意識して取り組んでいることの手応えを、保護者も感じてくれていることがすごくうれしかったし、何より子どもたちが家庭でペア席のことを話題にしてくれていることがすごくうれしかった。席替えのたびにペアの組み方は迷っているが、どの子がペアでも当たり前のようにペア活動ができる子どもたちになるよう、私自身も声のかけ方等でサポートしていきたい。」

このエピソードに子どもたちの成長、学校としての取組の成果が凝縮されていると考えます。引き続き、子どもたちの「〇〇したい！」という思いを引き出し、友達同士の関わり合いの中で新たな学びにつながるような授業づくり、学校づくりに努めてまいります。

13 黒笹小学校のことがすきな理由

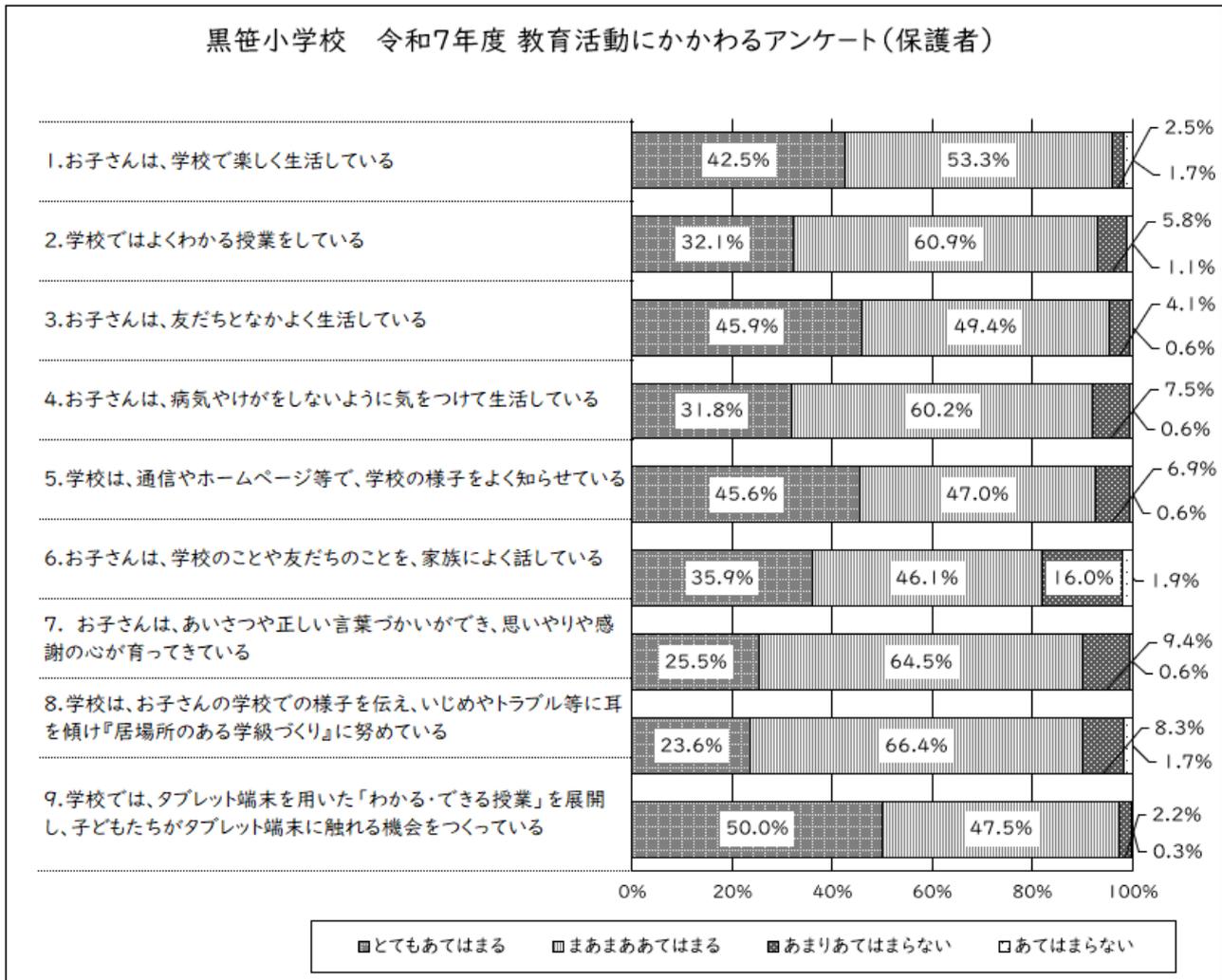


▽「問6：友だちや地域の人とあいさつをすることができる(87.2%)」「問7：言葉づかいに気をつけて、思いやりや感謝の気持ちをもって生活することができる(92.2%)」の項目がやや減少。

それぞれ-1.3%、-1.9%とわずかですが減少しています。運営委員によるあいさつ運動など、子どもたち発信の活動を実施していますが、日常的に実行できるような働きかけが必要であると感じます。また、言葉遣いや思いやりの心については、道徳科の授業だけでなく、教育活動全般を通して培っていくものであると捉えています。相手を気遣う心や感謝する心が育つよう、友達の善い行いを見つけて認め合う活動など、学年の実態に合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

裏面もご覧ください。

2 保護者アンケートより



○次の3つの項目に対しては、特に高い評価をいただいています。

問1 「お子さんは学校で楽しく生活している」(95.9%)

問3 「お子さんは友だちとなかよく生活している」(95.3%)

問9 「学校では、タブレット端末を用いた『わかる・できる授業』を展開し、子どもたちがタブレット端末に触れる機会をつくっている」(97.5%)

学校としては、保護者の皆様がお子さんの話す友達とのことや学校のことに耳を傾け、様子をつかんでくださっているのだと受け止めています。子どもたちが「学校が楽しい」と実感するためには、家庭での働きかけも不可欠です。「何か楽しいことあった?」「どんな勉強をしたの?」と問いかけることで、家庭でも振り返る機会をもってもらえただけだと幸いです。学校としても、子どもたちが安心して毎日通い続けたいと思える学校づくりに取り組んでまいります。タブレット端末については、友達の考えや意見を画面を通してリアルタイムに参照して、さらに自分の考えを練り直すといった効果的・効率的な活用方法を実践しています。こうした活用が「わかる・できる授業」へとつながるように努めてまいります。

▽「問6: お子さんは、学校のことや友達のことを、家族によく話している(82.0%)」は、他の質問と比べやや低い割合となっている。

やや低い割合であるものの、昨年比+1.4%と増加しています。学校では子どもたちに対して、家族と話すとよい話題について伝えるとともに、学年・学級通信等で子どもの様子を発信して、家庭で話題にさせていただけるよう努めています。また、「問5：学校は通信やホームページ等で学校の様子をよく知らせている(92.5%)」が+4.9%増となっていることも踏まえると、毎週末にきずなメールで校長から配信している「黒笹小の今日」も保護者の皆様に読んでいただいていると推察するとともに、その成果が少しずつ表れてきていると捉えています。今後も、こうした取組を継続し、さらに家庭・学校・地域の連携が深まるよう努めてまいります。

《自由記述欄より》

<ul style="list-style-type: none"> ・先生には日頃大変良く面倒をみていただいております。 ・先生には、とても温かく子どもが安心して学校へ行ける素晴らしい学級経営をしていただき、感謝ばかりです。 ・安全安心で子どもたちが過ごせるような環境づくりに感謝します。おかげで楽しく毎日登校できております。 ・先生には子どもに寄り添って、個々に対応していただいております。感謝しております。 ・毎週金曜日に配信される校長先生のコメントをいつも楽しく拝読しております。 ・金融リテラシーの向上を狙った教育をして欲しいです。 ・タブレットでのまとめや観察で撮影した写真を提出する際に、手書きを選択できる仕組みをご検討いただけますと幸いです。 ・タブレットでなく「書く」作業を増やすと、国語以外の教科を通して、字を書くことの強化ができるような気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年のうちは、タブレットの毎日持ち帰りを見直してもらいたい。 ・タブレットがあることで、授業に集中していなかったり、依存性、中毒性などがあつたりといったことを考えると、立ち止まって考える時期に来ているのではないかと思います。 ・学校のタブレットを家でずっと見ているので、時間制限をかけていただきたいです。 ・月例テストはこれからも続けてほしい。 ・体育の授業で持久走をやってほしい。 ・長期休みのしおり等は、子どものタブレットだけでなく、紙媒体かきずなネットでも配信をお願いしたい。 ・行事等で学校へ行くときに保護者証があれば、保護者なのか、その他の方なのか区別がつくのではないのでしょうか。 ・登下校時の不審者からの声掛け対策として、体操服の記名は取り外せるマジックテープ式にするなど工夫があるといいと思います。
--	--

記述欄には、教職員への励ましや前向きなご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

その一部を上に掲載しております。いただいたご意見・ご要望については、子どもたちのため、よりよい学校教育活動のために検討してまいります。また、検討した内容については、新年度の教育活動説明資料にてお伝えできればと考えております。今後もお気付きの点がありましたら、いつでもお伝えください。

これからも、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを守り、育てていきたいと思っております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。